



平成27年度

第2回 みみらんどセミナー

1部「補聴器の仕組みと管理」 2部「FM補聴システムの仕組みと管理」

☆ 実施日時 ☆ 平成27年 6月17日(水) 1部 13:30~15:00
2部 15:00~16:00

☆ テーマ ☆ 1部「補聴器の仕組みと管理」
2部「FM補聴システムの仕組みと管理」

☆ 講師 ☆ フォナック・ジャパン株式会社 林 邦広 様



～様々な補聴器～

- 補聴器は、きこえを補う装置で、入力された音を大きくします。しかし、軽度難聴程度は残ります。
- 耳かけ型・耳穴型・ポケット型・RIC型があり、水や塩水にも強い、防水タイプの補聴器が増えています。
- 指向性マイクや雑音抑制、周波数圧縮変換技術といった機能は大変効果的です。
- それぞれのきこえの状態を知り、ニーズに合わせた補聴器を選びましょう。

～補聴器フィッティング～

- 人は、聞かないと話せません。補聴器できこえと会話能力を補償しましょう。
- 成長とともにきこえは変化します。耳鼻科を定期的を受診し、言語訓練に生かしましょう。
- 補聴器が耳から垂れているお子さんがいます。マイクの方向が変わり、集音できなくなるので正しく装用しましょう。
- 音の方向や距離感を判断するためにも、必ず「両耳装用」にしましょう。



～FM補聴システムとは～

○送信機、受信機があります。



○騒音下でも、マイクからの声を直接聞くことのできるシステムです。

○幼少期は言語獲得として、社会人になるにつれて自立のための機器として、生涯にわたりきこえを助けてくれます。

～FM補聴システム最新情報～

○チャンネル管理不要の「ロジャー」タイプも普及してきています。騒音下での聴取がさらに向上しています。

○高校生や成人向けには「ペン」タイプの送信機も発売されています。

